

2016年3月期第3四半期 決算説明資料

2016.2.2

ITホールディングス株式会社

Copyright © 2016 IT Holdings Corporation All rights reserved.

(2016年2月2日開催 アナリスト向け決算説明電話会議 プレゼンテーション要旨)

・ITホールディングスの柳井です。よろしくお願いいたします。

2016年3月期第3四半期(累計) 業績概要

2016年3月期 業績見通し

参考資料

- ・それでは、本日3時半に発表いたしました、当社の第3四半期決算の内容につきまして、決算説明資料を使って説明させていただきます。

2016年3月期第3四半期(累計) 業績ハイライト

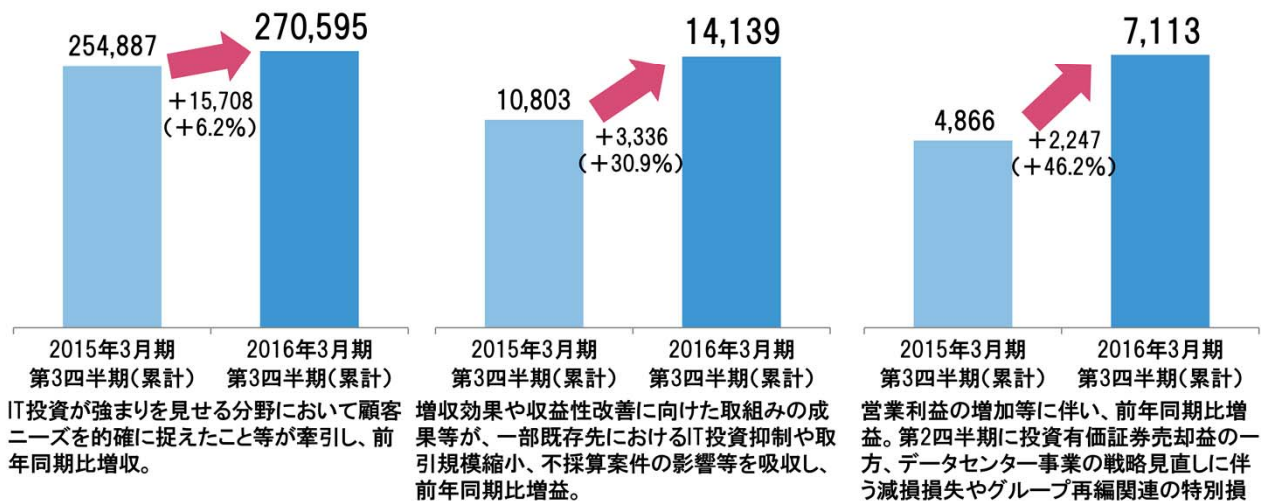
(単位:百万円)

- ・前年同期比増収増益決算。上期に引き続き第3四半期も好調継続。
- ・好調な事業環境を背景に売上高が伸長。利益面は増収効果等が牽引。

売上高 270,595百万円
前年同期比 +15,708百万円(+6.2%)

営業利益 14,139百万円
前年同期比 +3,336百万円(+30.9%)

親会社株主に帰属
する四半期純利益 **7,113**百万円
前年同期比 +2,247百万円(+46.2%)



Copyright © 2016 IT Holdings Corporation All rights reserved.

2

- ・まず、当第3四半期も上期に引き続き好調に推移したことから、第3四半期累計期間の業績は前年同期比増収増益となりました。
- ・売上高は、好調な事業環境を背景に2,705億円となり、前年同期比で157億円・6.2%の増収となりました。
- ・利益面は、営業利益が141.3億円、親会社株主に帰属する四半期純利益が71.1億円となり、それぞれ前年同期に比べて大きく増加しました。増益の要因は、増収効果や収益性向上の寄与が大きかったと言えます。
- ・残念な点は、今回決算において不採算案件が増加してしまったことです。第3四半期累計(9ヵ月)での不採算案件は前年同期に比べて16億円の増加となりました。これを吸収して前年同期比増益を果たしたわけですが、不採算案件については後ほどもう少しご説明します。

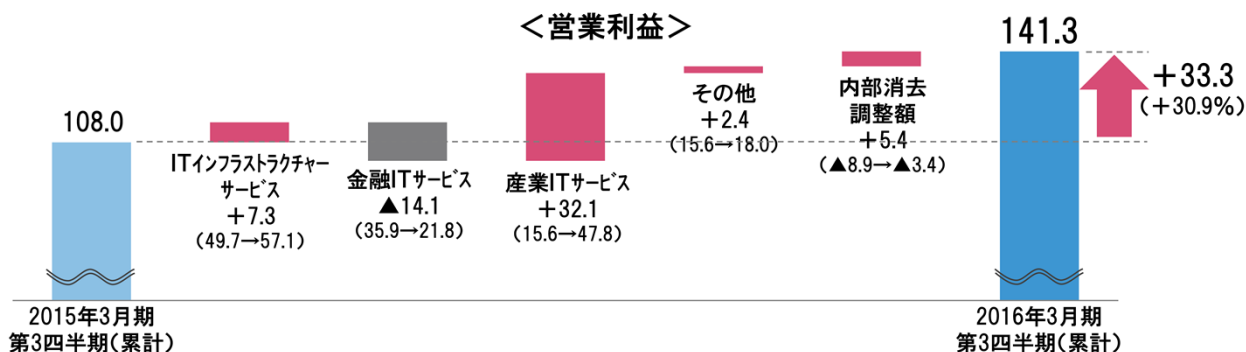
2016年3月期第3四半期(累計) 売上高・営業利益増減分析

(単位:億円)

<売上高>



<営業利益>



Copyright © 2016 IT Holdings Corporation All rights reserved.

3

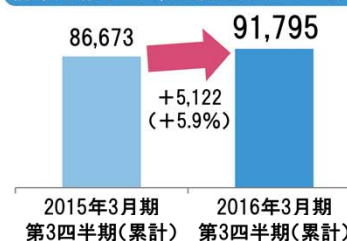
- ・続いて、セグメント別の状況についてですが、電力システム改革に伴ってIT投資が活発化しているエネルギー系を中心に産業ITサービスが大きく伸び、全体業績を牽引しました。
- ・ITインフラストラクチャーサービスも、M&A効果の寄与や上期末に実施したデータセンターの減損処理に伴う償却負担減もプラス要因となって、前年同期比増収増益となりました。
- ・一方、金融ITサービスは、事業環境全体が悪い状況というわけではありませんが、個別特定の既存大口先の投資抑制の影響が大きく、前年同期比で減収減益となりました。但し、先行きには明るさも見えてきておりますので、この状況からの反転もそう遠くないだろうと考えています。

2016年3月期第3四半期(累計) 主要セグメント別損益状況

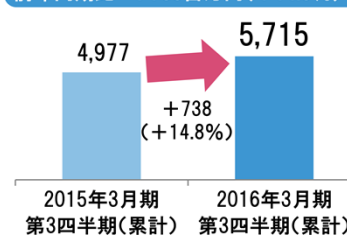
(単位:百万円)

<ITインフラストラクチャーサービス>

売上高 91,795百万円
前年同期比 +5,122百万円(+5.9%)



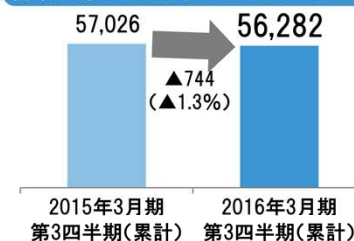
営業利益 5,715百万円
前年同期比 +738百万円(+14.8%)



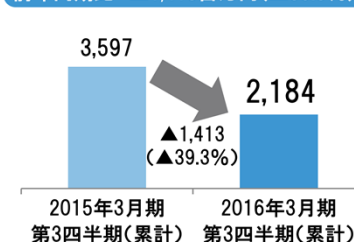
データセンター事業及びBPO事業とも安定的に伸長した上、M&A効果により前年同期比増収。一部の取引規模縮小や収益性低下の影響はあったが、増収効果・減価償却費減少等により、前年同期比増益。

<金融ITサービス>

売上高 56,282百万円
前年同期比 ▲744百万円(▲1.3%)



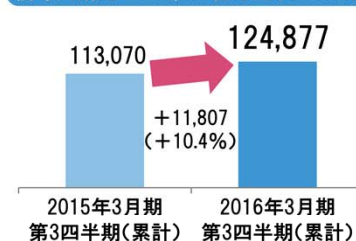
営業利益 2,184百万円
前年同期比 ▲1,413百万円(▲39.3%)



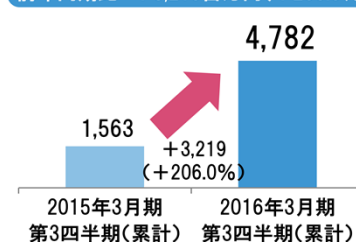
顧客のIT投資拡大の動きは概ね堅調であったものの、一部既存先におけるIT投資抑制の影響が大きく、前年同期比減収減益。

<産業ITサービス>

売上高 124,877百万円
前年同期比 +11,807百万円(+10.4%)



営業利益 4,782百万円
前年同期比 +3,219百万円(+206.0%)

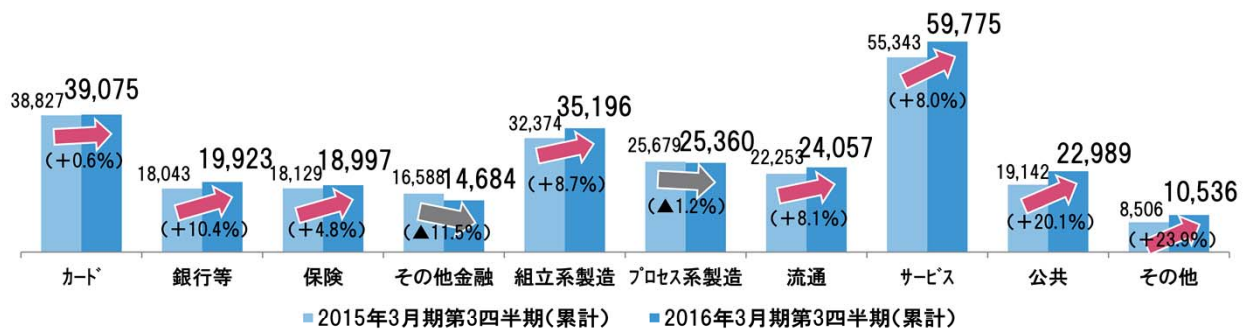


電力システム改革に伴ってIT投資が活発化するエネルギー系を中心に好調に推移し、前年同期比増収。増収効果や収益性改善に向けた取組みの成果等により、前年同期比増益。

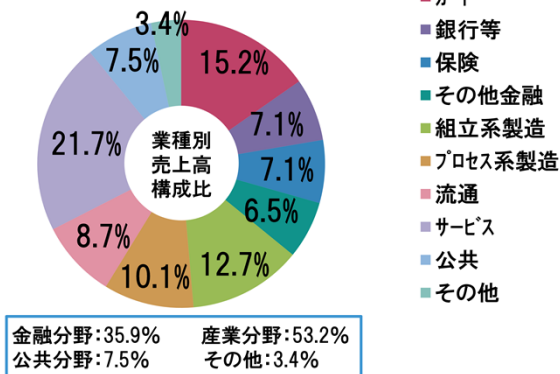
(説明省略)

2016年3月期第3四半期(累計) 業種別売上高

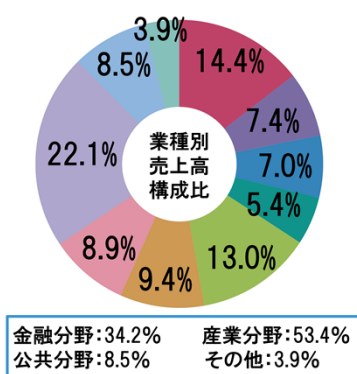
(単位:百万円)



<2015年3月期第3四半期(累計)>



<2016年3月期第3四半期(累計)>



Copyright © 2016 IT Holdings Corporation All rights reserved.

5

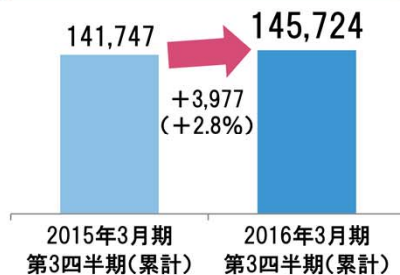
- ・業種別売上高の状況については、その他金融を除き、ほとんどの業種で前年同期比増収になっているのがわかりいただけるかと思います。
- ・例えば、カードは、特定顧客の減少が大きいものの、積極的なIT投資姿勢の顧客もあり、国際ブランドのデビットカードの引合いや導入は進んでおり、全体で見れば売上高は前年同期を上回る形となっています。
- ・産業系では、先ほど申し上げたエネルギー系におけるIT投資が活発なほか、IoT等の時流をとらえたテーマを含め、お客様自身がビジネスを伸ばしていくためのフロント系のIT投資強化の傾向が続いており、我々でいえば流通・サービスを中心に好調という形になります。

2016年3月期第3四半期(累計) 受注状況

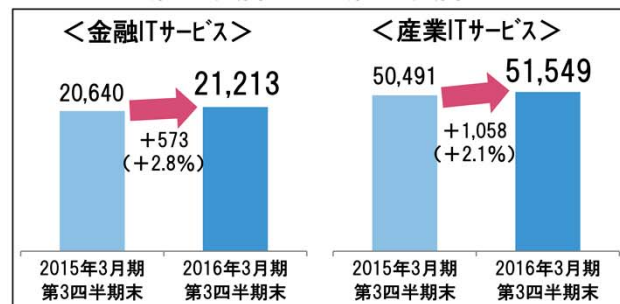
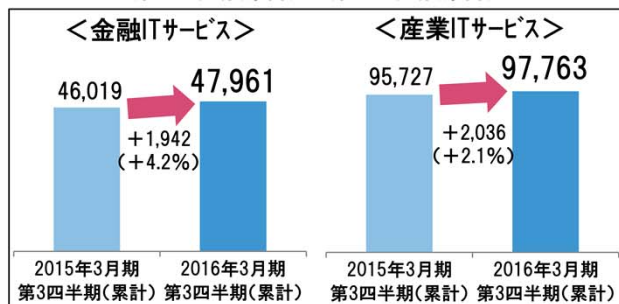
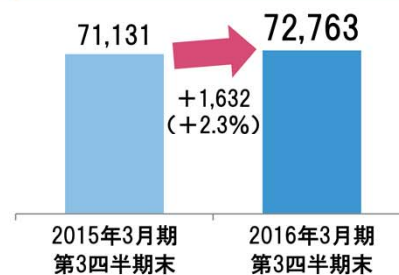
(単位:百万円)

- ・当期受注高はエネルギー系を中心として好調に推移、前第3四半期に獲得した公共系大型案件の反動減を吸収して前年同期比増加。期末受注残も受注高好調を受けて前年同期比増加。

当期受注高 145,724百万円
前年同期比 +3,977百万円(+2.8%)



期末受注残 72,763百万円
前年同期比 +1,632百万円(+2.3%)



Copyright © 2016 IT Holdings Corporation All rights reserved.

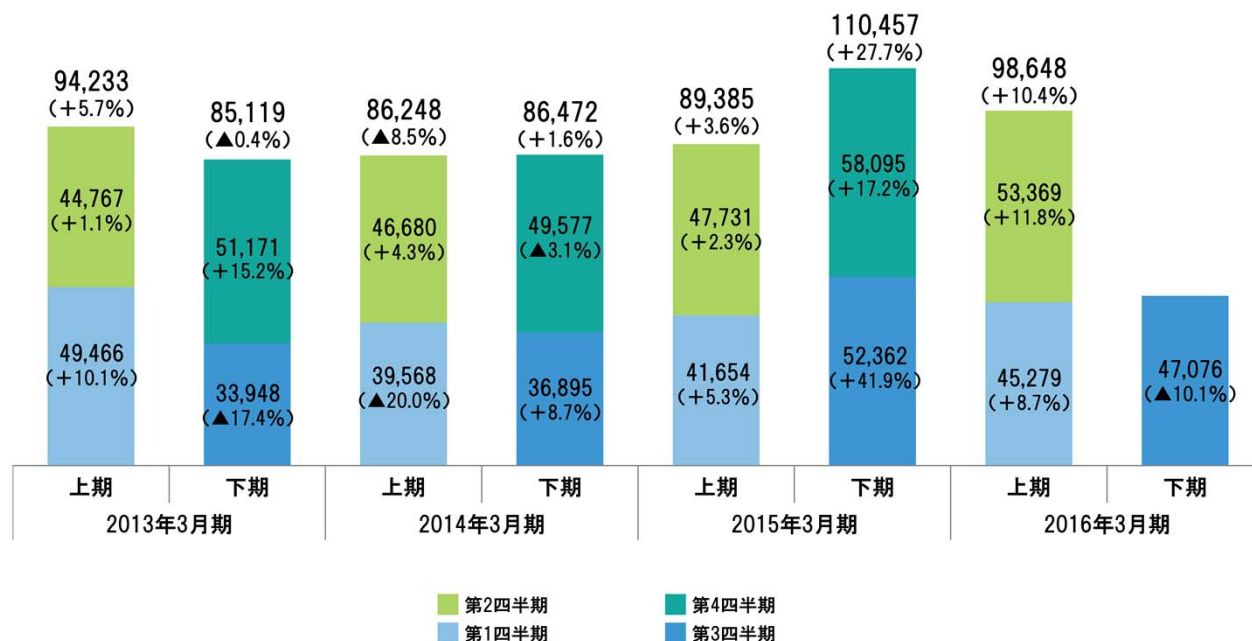
当期受注高・期末受注残・当期売上高は「ソフトウェア開発」に係るもののみ。

6

- ・次に第3四半期累計の受注状況です。
- ・当期受注高は、事業環境が良好な中で産業ITサービスを中心に着実な積み上げができたことから、前年同期比を上回る1,457億円という実績となりました。前期の第3四半期に公共系大型案件の一括受注125億円の計上があったため、この分が当第3四半期では大きな減少要因となったわけですが、それを打ち返して増加いたしました。セグメント損益では厳しい状況の金融ITサービスも受注高では増加しており、大型案件等のパイプラインもあり、今後に期待しているところです。
- ・期末受注残も当期受注高の好調を受けて、前年同期比を上回る実績となりました。

受注高の推移

(単位:百万円)



Copyright © 2016 IT Holdings Corporation All rights reserved.

当期受注高は「ソフトウェア開発」に係るもののみのみ。カッコ内の数値は前年同期比増減率。

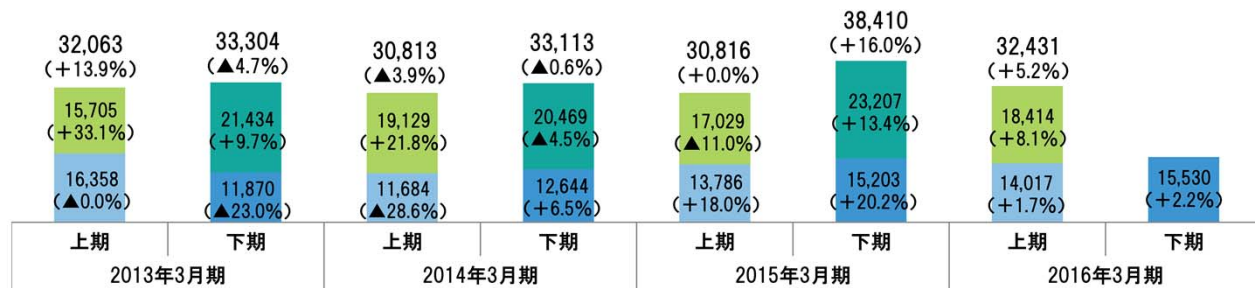
7

- ・実績面の最後に、口頭でのご説明になりますが、不採算案件の状況と大型案件の状況に関してご説明します。
- ・まず、不採算案件ですが、冒頭で申し上げましたように、残念ながら当第三四半期累計では、前年同期比16億円増加の36億円となりました。
- ・第三四半期では約18億円発生したわけですが、主なものとしては、金融系で1件、産業系で3件の計4件が挙げられます。
- ・各案件にそれぞれ対応していますが、全体として多額の不採算案件が発生し、抑制が思うように進んでいないことは大きな課題であると認識しています。
- ・現在、受注品質向上のための提案前審査制度の強化、プロジェクトのモニタリング強化、プロジェクトマネジメント力強化のために人材教育を見直すといったことを中心に、あらためて不採算案件の抑制が図れるよう取組みを推進しているところです。

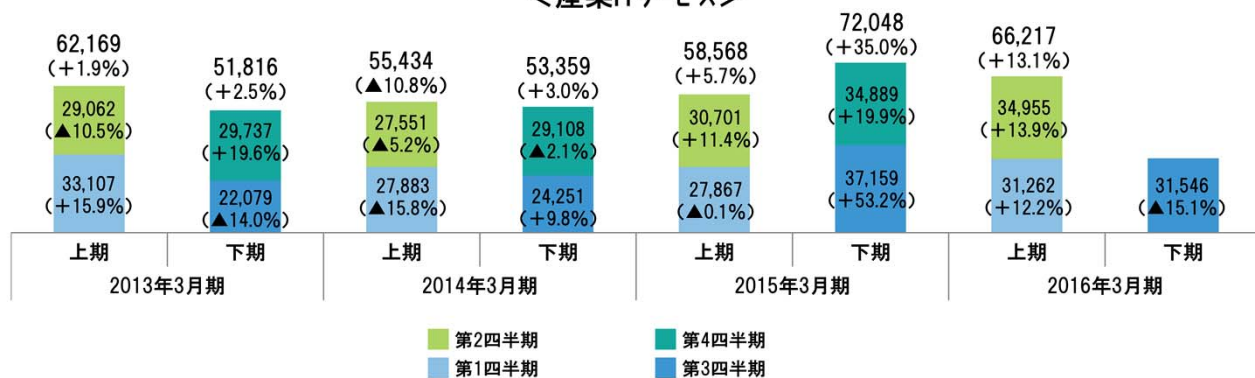
受注高の推移

(単位:百万円)

<金融ITサービス>



<産業ITサービス>



Copyright © 2016 IT Holdings Corporation All rights reserved.

当期受注高は「ソフトウェア開発」に係るもののみのみ。カッコ内の数値は前年同期比増減率。

8

- ・続いて、大型案件の状況についてです。
- ・我々は現在、カード系と公共系のお客様の大型開発案件を手掛けていますが、これらは計画に沿って進捗しています。
- ・今後のプロジェクト開始が見込まれるカード系の大型開発案件については、現時点ではまだスタートはしておりませんが、お客様を中心に検討は進捗しており、来期からの本格化に向けて順次進んでいくと認識している状況にあります。
- ・最後に、公共系で新たな大型案件の獲得が決まりましたのでご報告しておきます。案件の規模は約170億円となります。複数年にわたって基盤部分をサービスの形で提供する案件で、一部開発はありますが、運用業務が中心になりますので、セグメントとしては主にITインフラストラクチャサービスに計上されていくことになります。

2016年3月期第3四半期(累計) 業績概要

2016年3月期 業績見通し

参考資料

(説明省略)

2016年3月期 業績予想ハイライト

(単位:百万円)

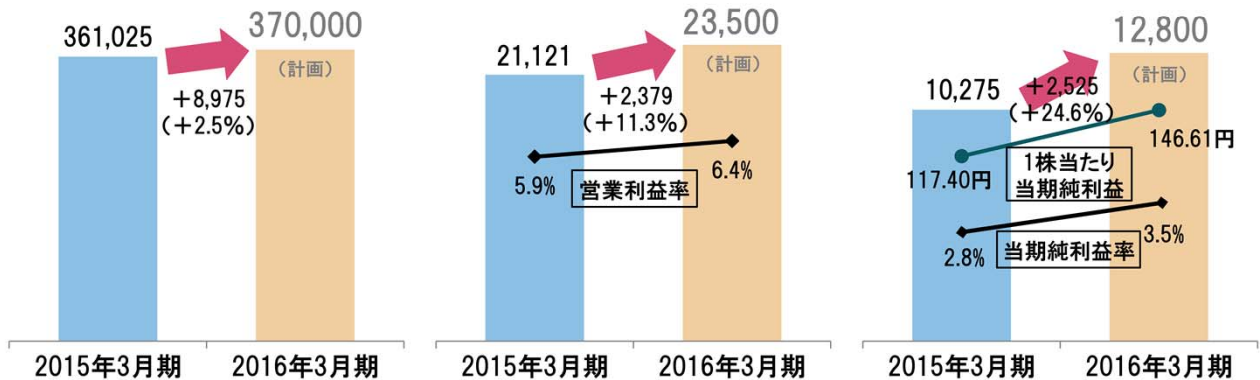
- ・堅調な事業環境の中で増収増益を計画。事業拡大とともに生産性向上等の収益向上施策を推進。
⇒概ね計画に沿って進捗していることから、期初計画値から変更はなし。
- ・2015年10月30日から2015年12月9日にかけて計16億円の自己株式取得を実施。
⇒総還元性向は35.2%となる見込み。

※総還元性向:純利益に対する配当と自己株式取得の合計額の比率

売上高 370,000百万円
前期比 +8,975百万円(+2.5%)

営業利益 23,500百万円
前期比 +2,379百万円(+11.3%)

**親会社株主に帰属
する当期純利益** 12,800百万円
前期比 +2,525百万円(+24.6%)



産業ITサービスを中心として、顧客のIT投資ニーズへの的確な対応による事業拡大を図り、前期比増収を見込む。

増収効果、生産性向上等の収益向上施策、のれん償却費の減少等により、増益を見込む。

営業利益の増加等により、前期比増益を見込む。

Copyright © 2016 IT Holdings Corporation All rights reserved.

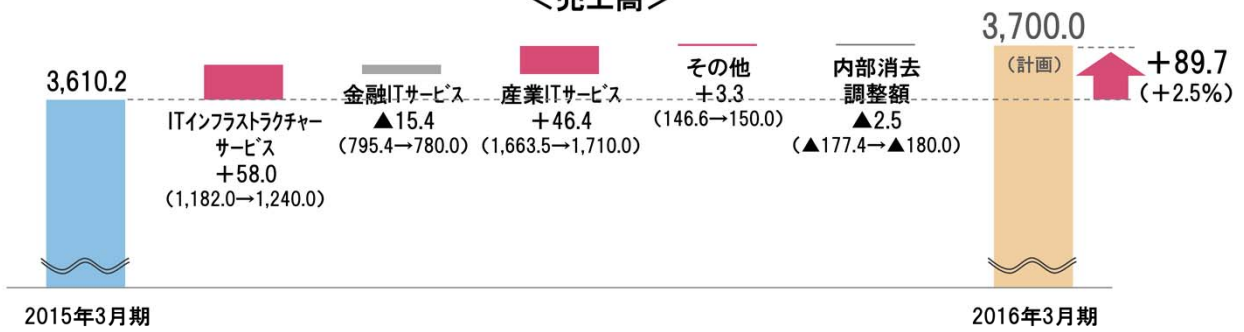
10

- ・それでは資料に戻っていただき、通期業績見通しですが、期初計画からの変更はありません。売上高は前期比2.5%増の3,700億円、営業利益は前期比11.3%増の235億円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比24.6%増の128億円の増収増益の計画です。第3四半期までの進捗状況等を踏まえ、第4四半期をしっかりと仕上げる事ができれば、期初計画の達成は難しいものではないと考えています。
- ・なお、すでに開示済のことではありますが、昨年10月末から12月にかけて総額16億円の自己株式の取得を実施しました。これによって総還元性向は35.2%になる見込みであり、期初に掲げた「総還元性向35%目途」を満たす水準となる見込みです。
- ・最後に、第2四半期決算発表の際に公表したグループの統合再編について状況をご説明しておきます。現在、4月予定のTIS・インテック間の相互事業移管及び7月予定のITホールディングスとTISの合併に向けて、それぞれが円滑に実現できるように粛々と準備を進めているところです。本日はこの件に関してこれ以上の詳細なご説明をいたしかねます点、どうぞご理解ください。
- ・以上で、説明を終了させていただきます。

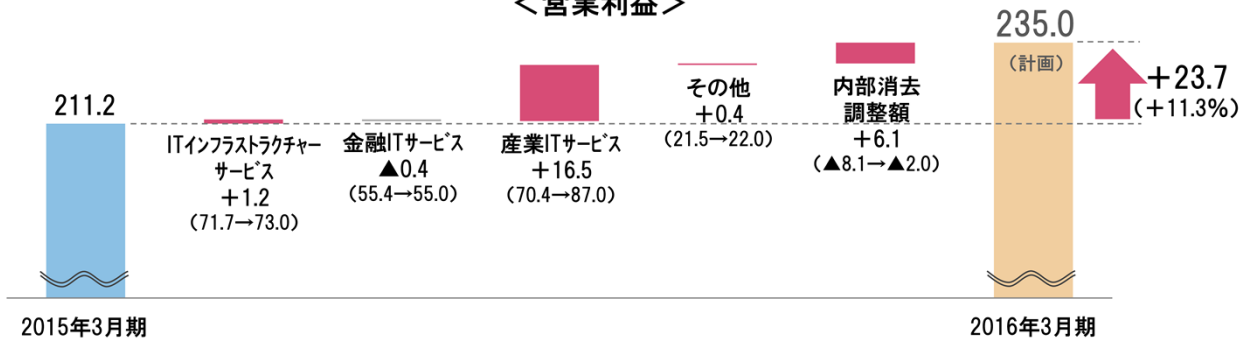
2016年3月期 売上高・営業利益増減分析(予想)

(単位:億円)

<売上高>



<営業利益>

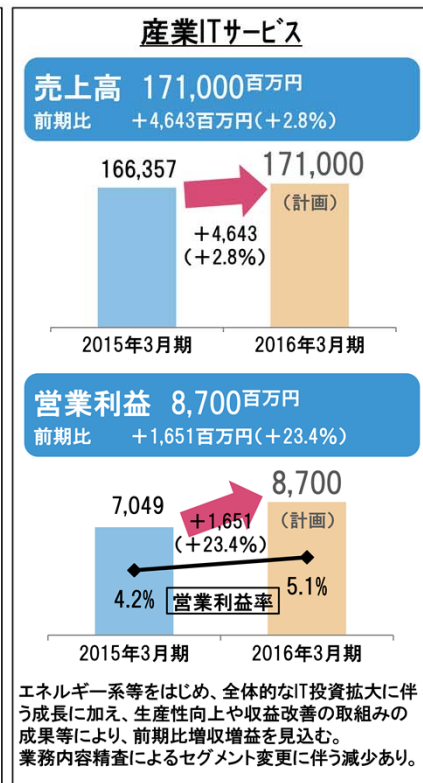
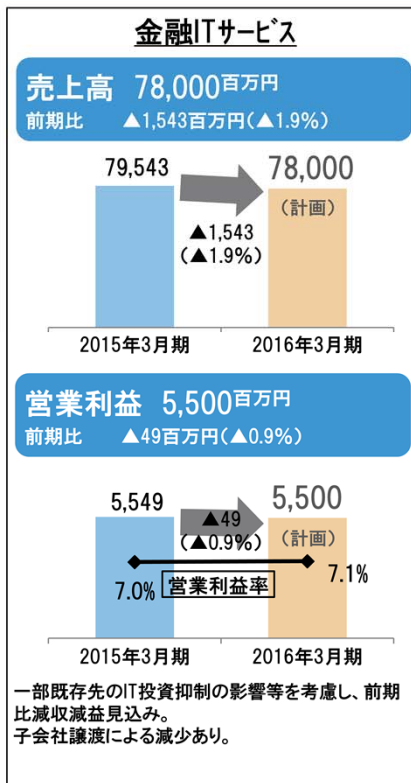
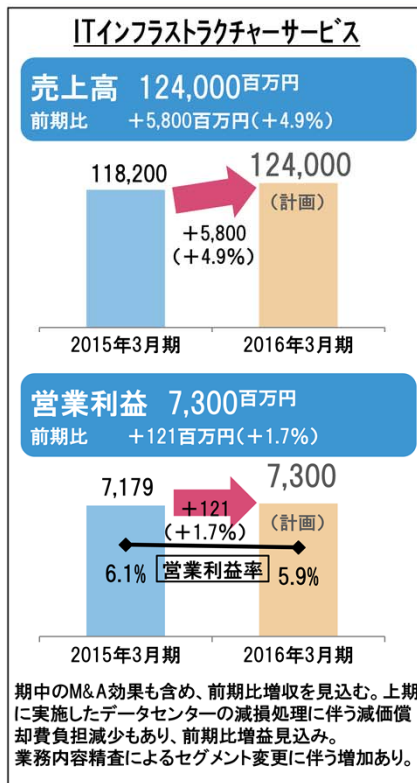


Copyright © 2016 IT Holdings Corporation All rights reserved.

(説明省略)

2016年3月期 主要セグメント別損益状況(予想)

(単位:百万円)



Copyright © 2016 IT Holdings Corporation All rights reserved.

各セグメントの売上高はセグメント間の売上高を含んだ数値です。

12

(説明省略)

2016年3月期第3四半期(累計) 業績概要

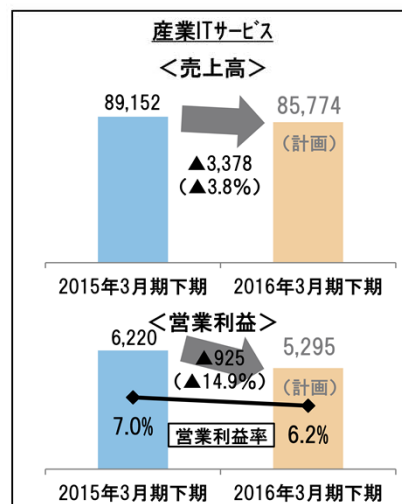
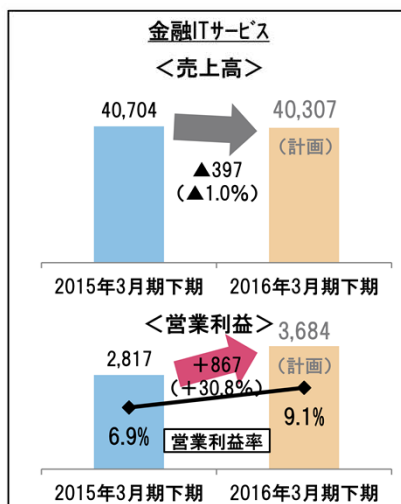
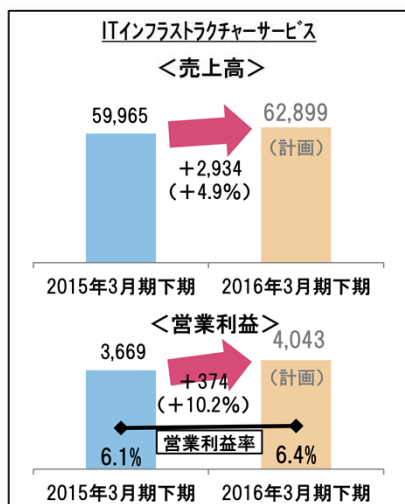
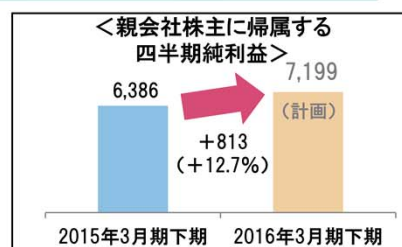
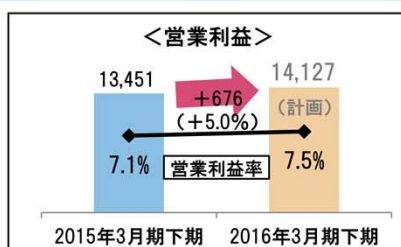
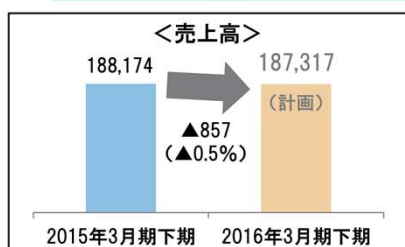
2016年3月期 業績見通し

参考資料

(説明省略)

2016年3月期下期 業績ハイライト・主要セグメント別損益(予想)

(単位:百万円)



Copyright © 2016 IT Holdings Corporation All rights reserved.

下期計画は通期計画から上期計画を控除したものです。
各セグメントの売上高はセグメント間の売上高を含んだ数値です。

14

(説明省略)

2016年3月期第3四半期 ITHDグループ プレスリリース/お知らせ①

発表日付	タイトル
2015年10月1日	連結子会社の人事異動および機構改正のお知らせ(ITHD)
2015年10月1日	インテック、「i-LOP(アイロップ)」クラウドβ版の提供開始
2015年10月5日	TIS、複雑化するITインフラの統合管理・監視などの運用を支援するマネージドサービス『MOTHER』を提供開始
2015年10月6日	新生銀行グループのアブラスが、「海外プリペイドカードGAICA」にTISの『PrepaidCube+』を採用
2015年10月7日	アグレックスとアシスト、個人情報の漏えい防止と高品質なシステムテストを同時に実現する「Syncsort DMExpress 個人情報秘匿システム連携ソリューション」を提供開始
2015年10月7日	TISがAWS パートナーネットワークの『AWSプレミアコンサルティングパートナー』に認定
2015年10月9日	TISがAPI管理プラットフォーム提供の米国企業Apigeeとリセラー契約を締結
2015年10月13日	アグレックス、データベースマーケティングに活用できるアドレスコード対応統計データ「ALMANAC2 国勢調査版」をリリース
2015年10月14日	インテック「第9回 ASPIC クラウドアワード2015」を受賞
2015年10月15日	アグレックス、子会社のACメディカルとアプシェを経営統合
2015年10月19日	システム運用効率化のためのバックアップ自動化ソリューション「IUKSYNC」を販売開始(アイ・ユー・ケイ)
2015年10月19日	TIS、EC事業のトータルソリューション『RetailCube』を提供開始
2015年10月26日	TIS、intra-martクラウドサービス「FAST TRACK」を提供開始
2015年10月28日	愛知県国保連合会の医療費分析システムでKDBとのデータ連携をTISがサポート
2015年10月29日	ITHD人事異動のお知らせ
2015年10月29日	代表取締役の異動に関するお知らせ(ITHD)
2015年10月29日	当社グループ組織の統合再編について(ITHD)
2015年10月29日	当社グループ組織再編(当社子会社との合併(簡易合併・略式合併))、並びに商号及び定款の一部変更に関するお知らせ(ITHD)
2015年10月29日	自己株式の取得に係る事項の決定に関するお知らせ(ITHD)
2015年10月29日	業界初、相手との関係性を強化するビジネス年賀状発送サービス『営業の年賀状』提供開始(ネクスウェイ)
2015年11月2日	TIS、中長期技術戦略推進に向け「AI技術推進室」を新設
2015年11月2日	連結子会社の人事異動および機構改正のお知らせ(ITHD)
2015年11月4日	インテック、南都銀行へ投資信託(運用性商品)販売支援機能を導入
2015年11月5日	コマツの建機・フォークリフトの車輛履歴データを一元化できる検索システム「t-Next」(トレーサビリティ・ネクスト)の開発・運用をクオリカの総合力でサポート!
2015年11月6日	自己株式の取得状況に関するお知らせ(ITHD)

(説明省略)

2016年3月期第3四半期 ITHDグループ プレスリリース/お知らせ②

発表日付	タイトル
2015年11月13日	『IUKMSS&i マネージド・セキュリティ・サービス&インシデントサポート』サービスを開始
2015年11月17日	インテック、地銀向けPepper用アプリケーション開発
2015年11月17日	医療分野専門の市場調査会社アンテリオのデータ分析プラットフォームを構築
2015年11月26日	TIS、製薬業界向けソリューション『Medical Drive』の提供を開始
2015年11月30日	i-LOP/IoT共通プラットフォームを活用したO2Oハッカソン開催(インテック)
2015年11月30日	クラウド型生産管理システム「ATOMS QUBE」新バージョンをリリース(クオリカ)
2015年12月1日	連結子会社の人事異動および機構改正のお知らせ(ITHD)
2015年12月4日	自己株式の取得状況に関するお知らせ(ITHD)
2015年12月7日	TIS、セブン銀行の子会社バンク・ビジネスファクトリーの業務専用端末の仮想デスクトップ化を支援
2015年12月9日	三菱アルミニウムの販売・生産管理システムの分散したデータベースをクラウド構築に最適な「Oracle Database 12c」のマルチテナント機能を活用し、「Oracle Database Appliance」へ統合(TIS)
2015年12月10日	自己株式の取得結果及び取得終了に関するお知らせ(ITHD)
2015年12月10日	クオリカ、無人受付端末「WebLight Dux」を発売
2015年12月10日	TIS、3次元CGアプリケーション開発ツール「Cyber Walker SDK」関連事業を事業譲渡
2015年12月14日	TIS、マツモト産業のSAP® ERPをAWS環境にトラブルゼロで移行
2015年12月16日	三菱東京UFJ銀行主催『Fintech Challenge 2016ハッカソン』を支援(TIS)
2015年12月17日	興伸、災害対策と環境性能に特化した最新メガ倉庫に新物流センターを開設
2015年12月22日	アグレックスとOKIコンサルティングソリューションズ、業界初の預金データ整備に法人版マイナンバーを活用する、「PayOffバック・法人番号チェックサービス」を提供開始
2015年12月24日	インテック、「i-LOP(アイロップ)」正規版の提供開始

(説明省略)



IT HOLDINGS

Go Beyond

(ご注意事項)

- ・本資料ではITホールディングスを略称名(ITHD)にて記載しています。
- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、ITHDグループ(ITHDおよびグループ会社)が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・各四半期会計期間(3カ月)の数値は累計期間の差引により算出しています。

(説明省略)